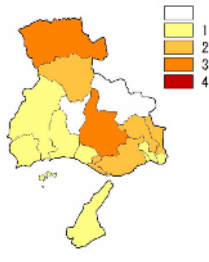


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

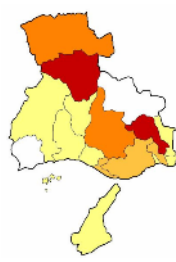
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

感染性胃腸炎

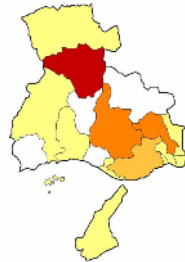
報告患者数は 3 週連続で減少しました。大型連休の影響と思われます。
あと 1 か月ほど患者数の多い状態が続くと予想されます。



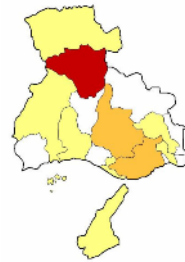
15 週 (4/7 ~ 4/13)



16 週 (4/14 ~ 4/20)



17 週 (4/21 ~ 4/27)



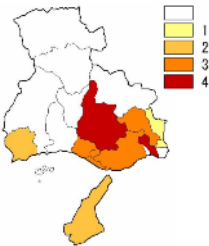
18 週 (4/28 ~ 5/4)



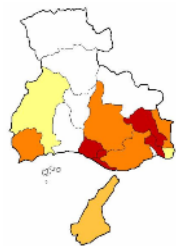
19 週 (5/5 ~ 5/11)

咽頭結膜熱

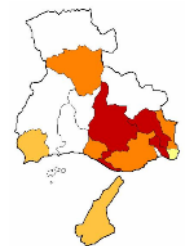
報告患者数は今週大きく減少しました。大型連休の影響と思われます。
これから夏場が流行シーズンです。
阪神地域、明石保健所管内の報告患者数が多くなっています。



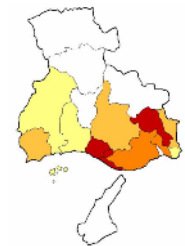
16 週 (4/14 ~ 4/20)



17 週 (4/21 ~ 4/27)



18 週 (4/28 ~ 5/4)



19 週 (5/5 ~ 5/11)

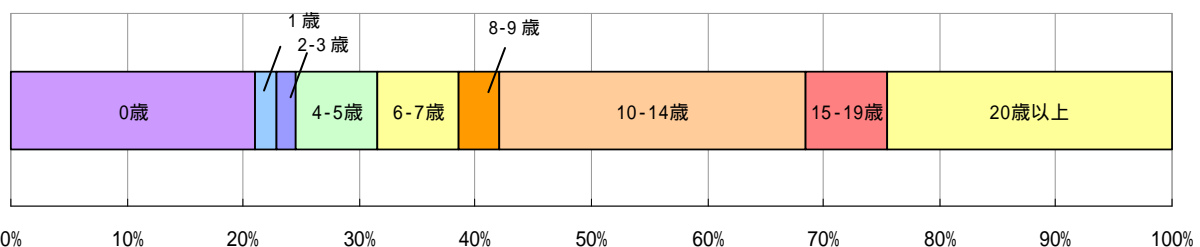
その他の感染症の概況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 今週報告患者数が微増しました。5 ~ 6 月の流行期が目前となっています。

手足口病 第 14 週以降、報告患者数の増加が続いています。手足口病、咽頭結膜熱やヘルパンギーナは代表的な夏型の感染症であり、今後夏に向けて急激な増加が予想されます。

百日咳 今週報告患者数は横ばいでしたが、例年より患者数が多くなっています。10 歳以上の占める割合が高くなっているのが特徴です。

百日咳の報告症例の年別・年齢群別割合 (2008 年)



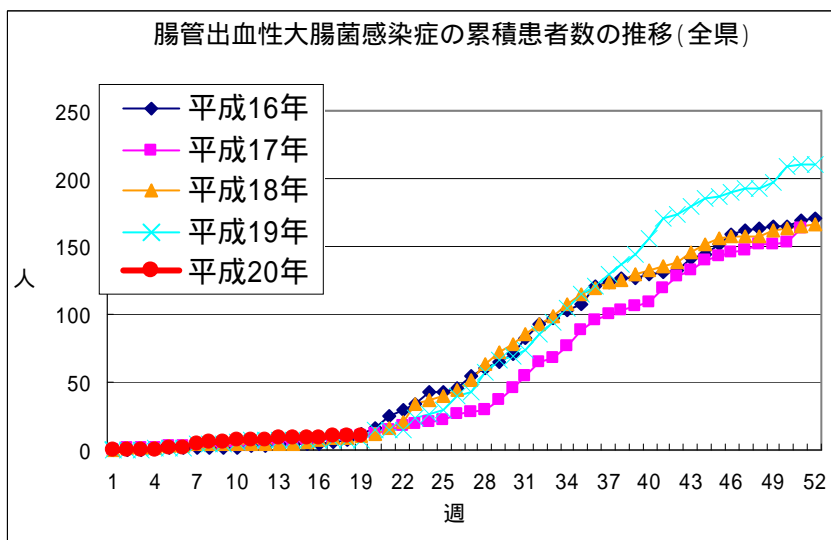
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	6.01	8.01	- 2.00	6位	咽頭結膜熱	0.46	0.78	- 0.32
2位	水痘	1.55	1.47	+ 0.08	7位	流行性耳下腺炎	0.40	0.29	+ 0.11
3位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.05	1.01	+ 0.04	8位	手足口病	0.36	0.28	+ 0.08
4位	流行性角結膜炎	0.86	0.74	+ 0.12	9位	インフルエンザ	0.15	0.25	- 0.10
5位	突発性発しん	0.53	0.54	- 0.01	10位	ヘルパンギーナ	0.10	0.09	+ 0.01

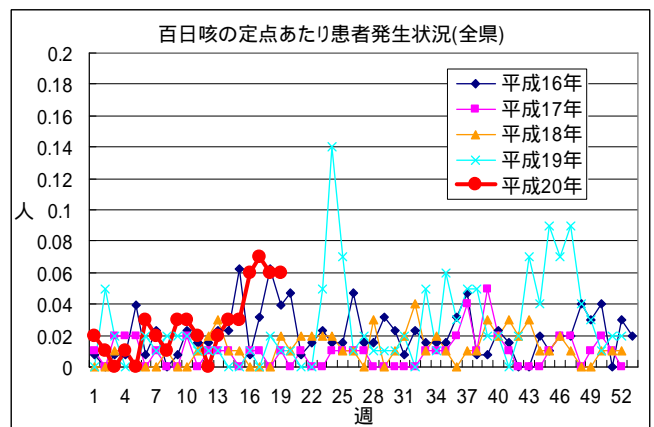
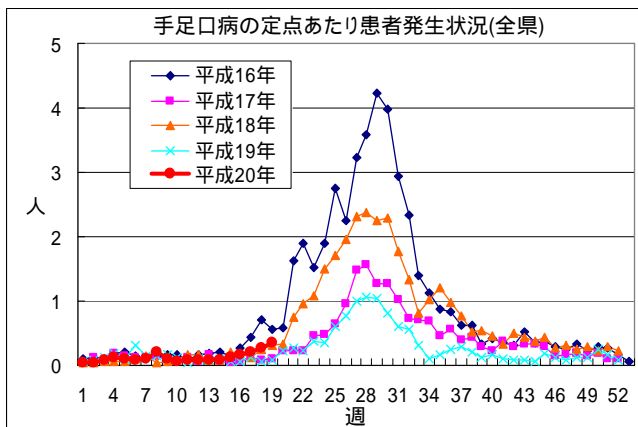
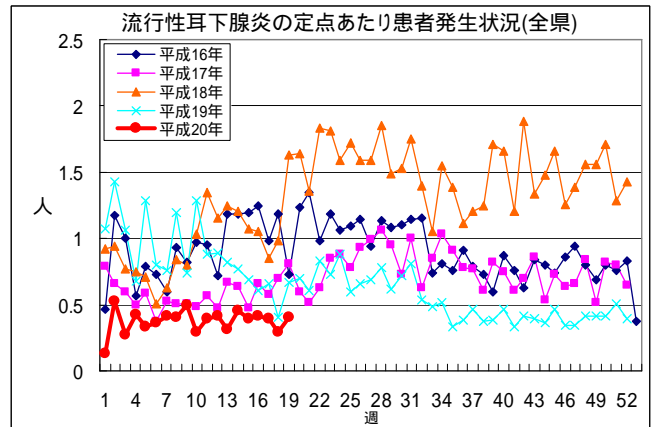
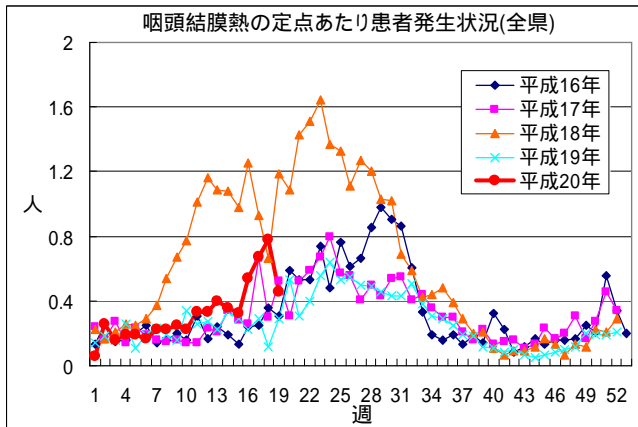
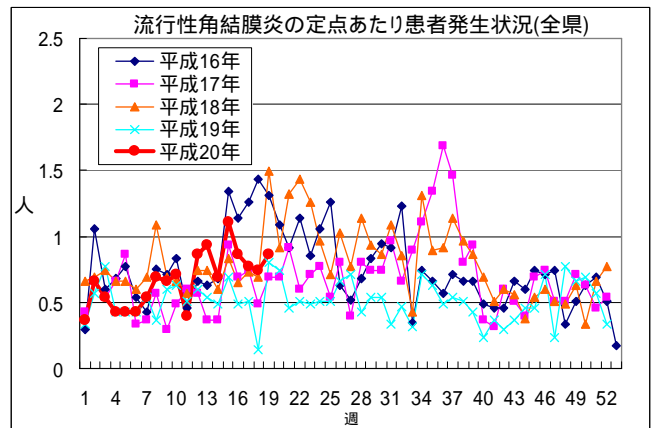
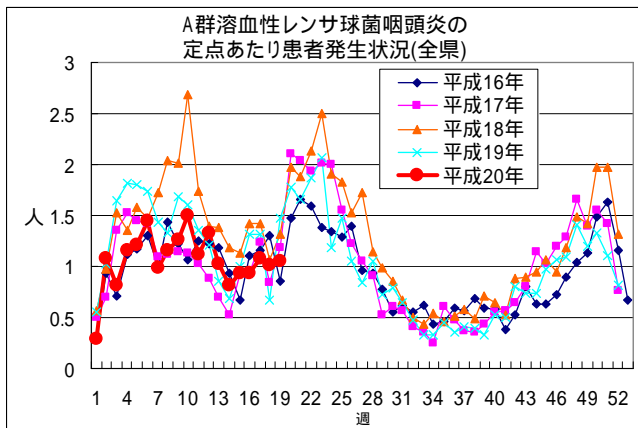
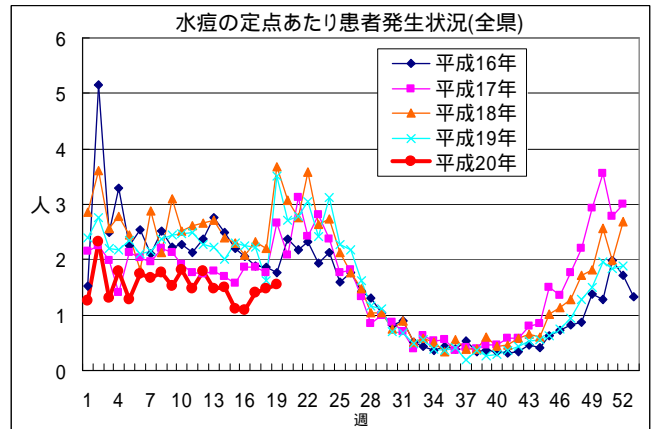
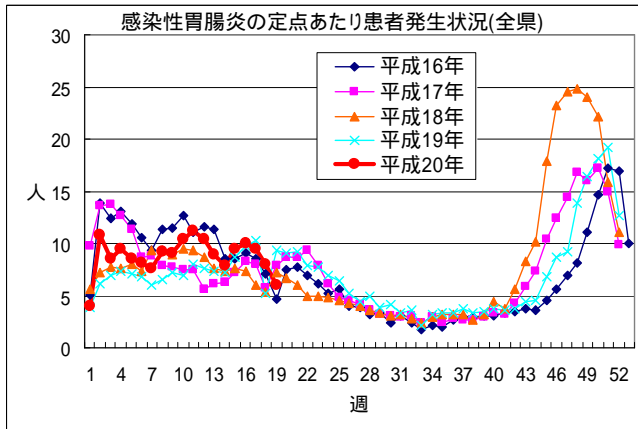
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 15名 （神戸市8名、尼崎市1名、姫路市1名、西宮市1名、伊丹保健所管内1名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内2名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	ウイルス性肝炎 2名 （社保健所管内；B型1名,C型1名） 梅毒 1名 （神戸市；無症候） 麻しん 2名 （神戸市2名；1歳/臨床診断/ワクチン接種歴無、0歳/検査診断/ワクチン接種歴無）
追加報告	結核 12名 （尼崎市3名；第17週2名,第18週1名、明石保健所管内1名；第18週、加古川保健所管内1名；第18週、福崎保健所管内1名；第17週、柏原保健所管内6名；第5週1名,第9週1名,第14週1名,第16週1名,第18週2名）

今週報告はありませんでしたが、腸管出血性大腸菌感染症（いわゆるO157）の多発する季節が間近となっています。昨年は、過去5年間のうちで最も患者数が多い年となりました。



目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。